

都内におけるPCB廃棄物等の保管・使用・処理状況について

このたび、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」及び「東京都PCB適正管理指導要綱」に基づき、事業者及びPCB処理業者（日本環境安全事業㈱、東京臨海リサイクルパワー㈱）から届出のあったPCB廃棄物の保管及び処理並びにPCB製品の使用状況について、以下のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

1 保管量及び使用量

平成25年3月末における都内のPCB廃棄物の保管量及びPCB製品の使用中の量は、以下のとおりです。なお、届出があった事業者数は7,296（7,719）です。

分類	保管量		使用中の量	
	数量	数量	数量	数量
高圧トランス	739台	(820台)	117台	(122台)
リアクトル	147台	(188台)	50台	(48台)
高圧コンデンサ	9,403台	(13,604台)	780台	(918台)
放電コイル	298台	(300台)	9台	(8台)
PCB油	49,720ℓ	(46,500ℓ)	—	—
照明用安定器	129万個	(130万個)	10,856個	(14,481個)
その他小型機器	20万個	(18万9千個)	523個	(424個)
感圧複写紙	77,692kg	(76,515kg)	—	—
PCB汚染物	877,285kg	(808,825kg)	—	—
ウェス	110,235kg	(107,638kg)	—	—
柱上トランス	10,133台	(9,557台)	21,002台	(36,002台)
柱上トランス油	7,830ℓ	(63,130ℓ)	—	—
微量PCB混入高圧トランス	7,802台	(6,249台)	8,768台	(11,292台)
微量PCB混入高圧コンデンサ	2,776台	(3,438台)	266台	(272台)
微量PCB混入油	181,506ℓ	(68,257ℓ)	—	—

- ()内は、平成24年3月末の数値です。
- 平成24年3月末からの保管・使用量の増減原因は主に、「①処理施設へ搬入、②使用から保管への移行、③都道府県間の移動、④新規届出」によるものです。

2 処理量

○日本環境安全事業株式会社(※1)

分類	平成24年度処理量	平成17年11月からの累計処理量
高圧トランス	349台	1,007台
リアクトル	86台	564台
高圧コンデンサ	6,065台	22,494台
PCB油	127,681ℓ	533,911ℓ
照明用安定器	0個	13,335個
柱上トランス	23,665台	153,618台
その他機器	121台	489台

(※1) 国が100%出資して設立した施設で、1都3県のPCB廃棄物を無害化処理している。上表は1都3県分の処理量である。

○東京臨海リサイクルパワー株式会社(※2)

分類	平成24年度処理量	平成23年10月からの累計処理量
微量PCB油	4,293,250ℓ	4,358,829ℓ

(※2) 国から認定を受けた無害化処理認定施設

問い合わせ先
 廃棄物対策部 産業廃棄物対策課 PCB担当
 TEL : 03-5388-3573